

淀川水系神崎川下流ブロック 流域治水管図【位置図】

～流域治水の推進による神崎川下流域の治水安全度のさらなる向上～

○神崎川下流ブロック（神崎川、中島川、左門殿川、西島川）では、当面の治水目標として40年に1度程度発生する恐れのある降雨による洪水を安全に流下させることができるよう、河床掘削等による洪水対策を実施するとともに、避難のためのソフト対策に取り組み、流域一体となった治水対策を推進します。

凡例

- 河道改修
- 贯留施設（新規）
- 贯留施設（既存）
- 流域界

神崎川流域洪水タイムライン

防潮扉操作訓練（左門橋）

●氾濫ができるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河床掘削【府】
- ・下水道等排水施設の整備

●被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ①情報伝達、避難計画等に関する事項
 - ・洪水浸水想定区域の指定拡大【府】
 - ・想定最大規模の雨水出水に係る浸水想定区域図等の作成と周知【府・市】
 - ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施【府・市】
 - ・ホットラインの運用（洪水・高潮）【府・市】
 - ・タイムラインの策定・運用（広域・市域・地域）【府・市・民間】
 - ・水害危険性の周知促進【府】
 - ・洪水予測や水位情報の提供の強化、水位計、河川カメラの整備【府】
 - ・ICTを活用した洪水情報の提供【府、気象台】
 - ・隣接市における避難場所の設定（広域避難体制の構築）等【府・市】
 - ・応急的な避退場所の確保【市】
 - ・市庁舎や災害拠点病院等の機能確保のための対策の充実（耐水化、非常用発電機等の整備）【市】
 - ・排水施設、排水資機材の運用方法の改善【府・市】
 - ・水門・鉄扉等の施設の確実な運用体制の確保【府・市】
- ②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項等
 - ・ハザードマップの改良、周知、活用【府・市】
 - ・防災教育の推進【府・市】
 - ・共助の仕組みの強化、地域防災力の向上のための人材育成【府・市】
 - ・住民一人一人の避難計画（マイタイムライン）・情報マップの作成促進【府・市】等
 - ・水防に関する広報の充実（水防団員確保に係る取組）【市】
 - ・水防訓練の充実、避難訓練への地域住民の参加促進【府・市】
 - ・水防関係者間での連携、協力に関する検討【府・市】

●グリーンインフラの取組み

- ・自治体、住民、企業との協力による河川美化活動【府・市・民間】
- ・健全なる水環境等の確保（河床掘削）【府】

河床掘削工事（神崎川）

「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 703」

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

淀川水系神崎川下流ブロック 流域治水管理図【ロードマップ】

～流域治水の推進による神崎川下流域の治水安全度のさらなる向上～

- 神崎川下流ブロックでは、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、府・市が一体となって、「流域治水」を推進する。

【短 期】 住宅密集地での重大災害の発生を未然に防ぐため、河床掘削等による洪水対策に着手。

【中 期】 河床掘削等による洪水対策の推進。

【中 長 期】 当面の治水目標として40年に1度程度発生する恐れのある降雨による洪水を安全に流下させる対策を完了。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	神崎川の河床掘削	大阪府			
	左門殿川の河床掘削	大阪府			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	①情報伝達、避難計画等に関する事項 ・洪水浸水想定区域の指定拡大 ・雨水出水浸水想定区域の指定 ・市町村、地域タイムラインの策定 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成 ・防災気象情報の改善 等	大阪府・大阪市・気象台	洪水浸水想定区域指定 拡大完了(R4年度)		
	②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項 ・ハザードマップの改良・周知・活用 ・マイタイムラインの策定 等	大阪府・大阪市	雨水出水浸水想定区域図 作成・公表(R7年度)		
グリーンインフラの取組み	河川美化活動	大阪府・大阪市・民間			

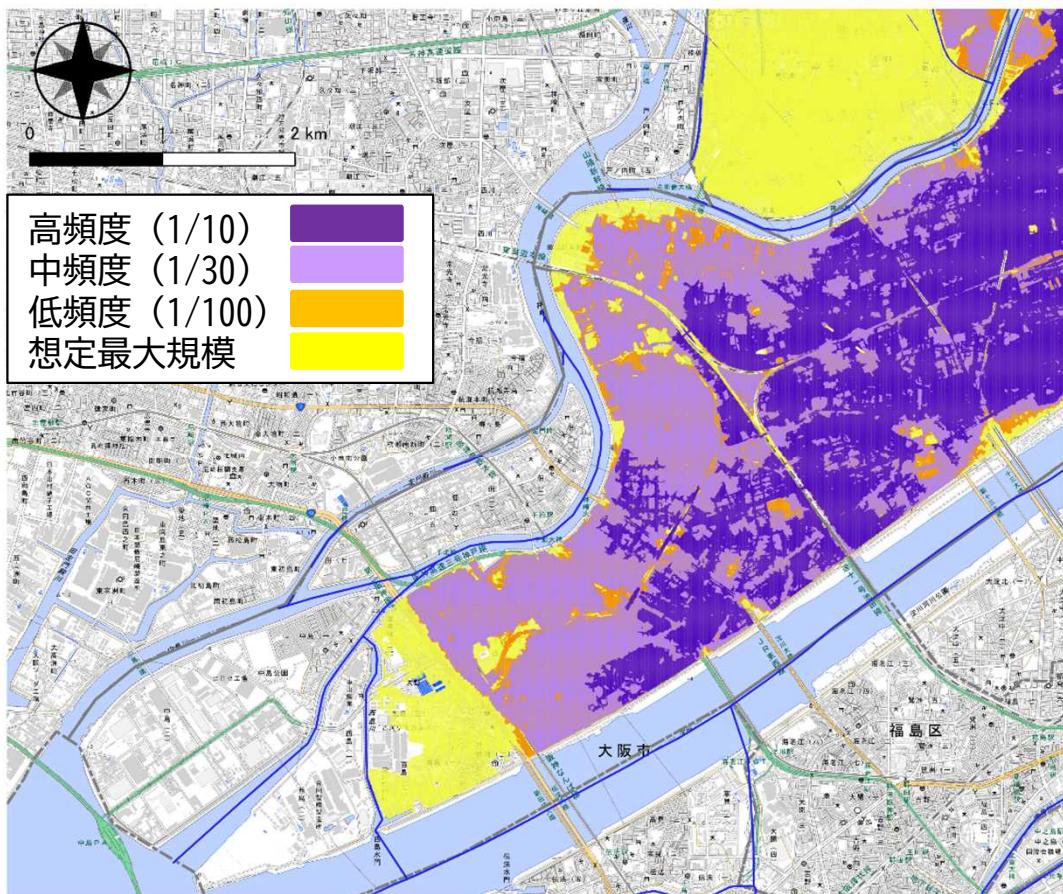
淀川水系神崎川下流ブロック 流域治水管理図【事業効果の見える化】

～流域治水の推進による神崎川下流域の治水安全度のさらなる向上～

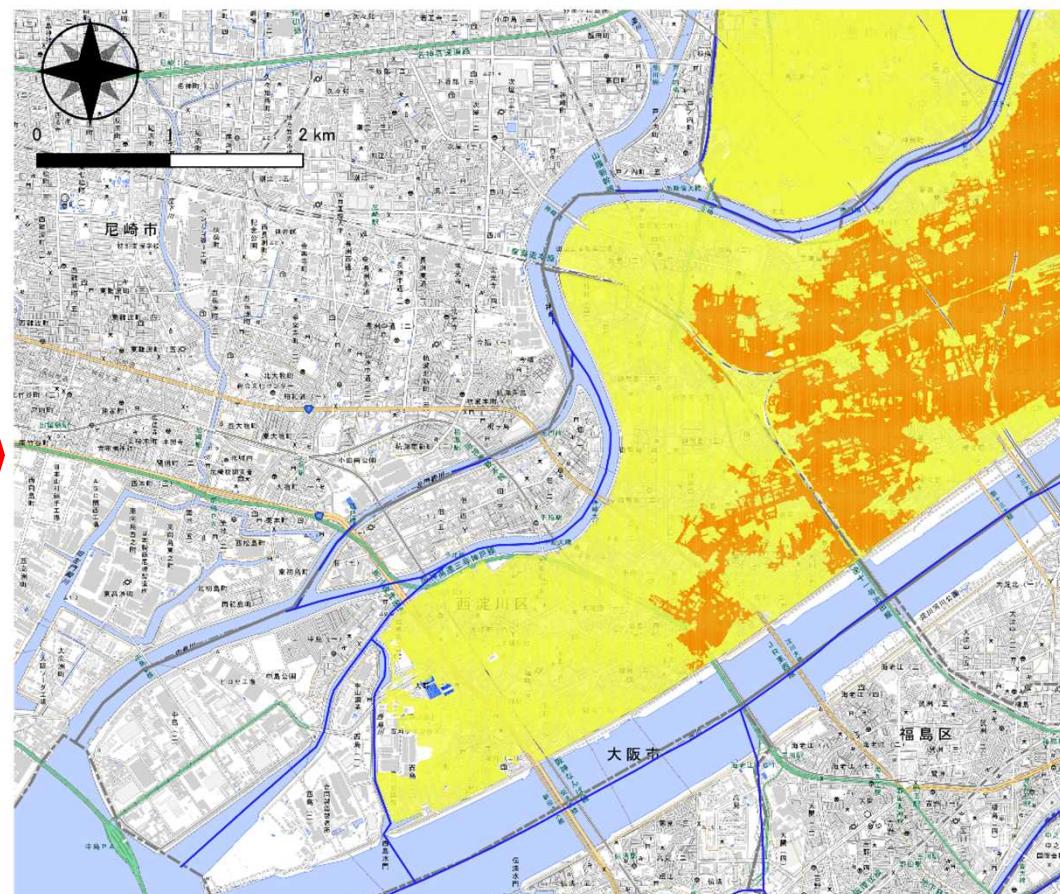
河川整備等による効果

河床掘削のほか、下水道等排水施設整備の推進により、
神崎川：40年に1度程度発生する恐れのある降雨に対し、家屋床上浸水が解消

現状



整備後



※この図は、1/10、1/30、1/100の確率年及び想定最大規模の降雨により想定される、府管理河川の外水氾濫の浸水範囲である。

※「現状」の図は、氾濫シミュレーション時点 (H30) の施設整備状況において想定される浸水範囲を示したものである。

※「整備後」の図は、河川整備計画の整備メニュー実施後において想定される浸水範囲を示したものである。なお想定最大規模については、施設整備の効果を考慮していない。

淀川水系神崎川下流ブロック 流域治水管理図【流域治水の具体的な取組】

～流域治水の推進による神崎川下流域の治水安全度のさらなる向上～

当面の治水目標に対応した河川の整備



整備率：89%
(令和6年度末時点)

流出抑制対策の実施



既存防災調節池等
0施設
(令和6年度末時点)

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水
想定区域
雨水出水
浸水想定区域
4河川
0団体
(令和6年度末時点)

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保 洪水 5760施設
計画 高潮 3852施設
避難訓練 786施設
(令和6年度末時点)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

河床掘削による洪水対策

神崎川下流ブロックでは、洪水対策として、当面の治水目標を40年に1度程度発生する恐れのある降雨による洪水を安全に流下させることができるよう、左門殿川、神崎川の河床掘削を実施。

河床掘削のほか、下水道等排水施設整備の推進により、40年に1度程度発生する恐れのある降雨に対し、家屋床上浸水が解消される。

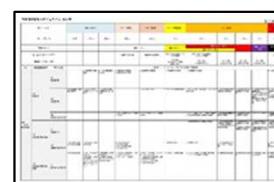


神崎川河床掘削工事

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

神崎川流域洪水タイムライン

大阪府では、令和3年度に流域市、国、ライフライン事業者、鉄道事業者などの防災機関と連携して「神崎川流域洪水タイムライン」を策定。



神崎川流域洪水
タイムライン

神崎川及び左門殿川 防潮扉点検操作訓練

台風による高潮の際に防潮鐵扉を閉鎖し大阪市内等を浸水被害から防ぐため、台風前に備え、国道2号及び周辺道路を通行止めし、防潮鐵扉閉鎖訓練を実施。



防潮堤点検操作訓練
(左門橋)

グリーンインフラの取り組み

河川美化活動

大阪府では、地域に愛され大切にされる川づくりをめざし、自発的な地域活動を河川の美化につなげる『アドプト・リバー・プログラム』を実施している。

神崎川下流ブロックでは、神崎川や中島川において美化活動が行われている。



アドプト・リバー
活動状況